

## 2022年度 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表集計

## 親子教室あいあい

	項目	はい (人)	いいえ (人)	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	・利用定員に対して、十分なスペースが確保されてある。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	0	・児童の利用定員に対し、基準以上の配置が成されている。 ・規定数は満たしているが、利用児が少ない日は職員配置が充実しており、より満足のいく支援が出来たと感じる。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	・リスク管理を行いながら環境整備を行っている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	・子ども達が身体を使って遊べるよう巧技台やマットで滑り台やジャンプ台等、工夫している。 ・5S活動の実施により清潔な空間を心掛けており、心地よく過ごせる環境整備を行っている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	・一部の職員が主に担っており、全職員で共有するものの、意識の差がある為職員会議の議題に入れ込んだ。 ・目標設定をしていない。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	・評価表の内容を業務改善に繋げている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	・ホームページにて自己評価表を公開している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	・第三者による外部評価を実施できていない。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	・スーパーバイザーによる研修を行っている。 ・コロナ等で参加が難しいですが、学習会等で補う努力をしている。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	・アセスメントを行い、子どもや保護者のニーズや課題について分析し、児童発達支援計画に反映している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	・共通書式を利用してアセスメントを行っている。 ・誰一人として同じ状況は無いと考えると標準化された物は必要ないとも考えられる。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	・ガイドラインの支援内容を考察し、具体的な支援内容を設定している。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	・支援計画に沿った支援を行えているかモニタリングを通して確認を行っている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	・活動内容はチームで検討して計画している。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	・活動のテーマは一定な部分はあるが、年齢によって取り組み方の違いや狙いがある。成長も保護者と共有出来ている。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4	1	・個々に発達検査を実施し、子どもの発達状況を踏まえて、支援計画を作成している。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	・朝礼で確認している。 ・もう少しじっくり出来ると良いと思います。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	・必ずではないが、話し合いやフィードバックが出来る様にしている。
	⑲ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	・グループ日誌に支援内容を記録し、支援の改善に繋げている。
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	・6ヶ月ごとにモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しや必要性を判断している。	
関係	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	・ケース担当者又は、児童発達支援管理責任者が参加している。 ・相談支援専門員との連携を担当者が行っている。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	・健診後や相談後、療育の必要性のある子どもたちの支援を連携しながら行っている。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当なし
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当なし

…機関や保護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	・併行通園している保育所や認定こども園、幼稚園を訪問し連携を行い、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。 ・保育所等訪問支援を実施している。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	・就学前に小学校に出向き、支援内容の情報共有と相互理解を図っている。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	・自立支援協議会などを通して連携や研修を行っている。 ・広島県東部幼児通園療育機関協議会に所属し連携を図り、助言や研修を受けている。・もっと連携が必要なのかなと思います。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	・ほとんどが併行通園児の為、所属する保育園等で一緒に活動しており、連携を実施している。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	0	・自立支援協議会の定例会や児童部会へ参加し、情報交換している。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	・同じ伝え方でも、上手く伝わらなかつたりするので、難しい事があります。 ・保護者支援の時間に、その日の子どもの状況や子どもの姿から見えてくる課題について話し合う機会を作っている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	2	・毎回その日の振り返りを行い、月に1回は保護者と学習の時間を設けている。 ・ペアレントトレーニングとして支援出来ているか解らない。必要であれば取り入れるが、取り入れないといけないのか疑問がある。

保護者への説明責任等	③②	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	・重要事項、運営規程の説明を行っている。 ・加算等による利用料の変更や利用負担がある場合はその都度説明を行い同意を得ている。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0	・ガイドラインに基づいた児童発達支援計画を6カ月ごとに作成し、保護者に説明を行い同意を得ている。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	・6カ月毎のモニタリング、個々の発達検査等を実施し、子育ての悩み等に対する相談に応じている。 ・困り感や悩み等がある場合は、個々に相談に応じている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	・保護者同士も「仲間」と感じ、安心や勇気、自信につながるよう交流を大切にしている。 ・もっと交流の時間をとり、支援をしても良いと思う。 ・グループの保護者同士はグループワークの時間を通して交流を図る事が出来るようにしている。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	・参加日には個別に声掛けを行い、話しやすい状況を整えている。相談にはすぐに応じれる体制を整備している。 ・自ら申し入れるのを遠慮する保護者の方も多い。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	・3ヶ月ごとに各グループのお便りを作成し、活動内容や目的を記載し、配布している。
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	5	0	・プライバシーや個人情報の保護について十分注意している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	・意思の疎通ができていないかの確認を図っている。
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	・消防署見学などを通して地域の施設との交流を図っている。	

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	1	・訓練は実施しているが、マニュアルが十分活用できていない。また、マニュアルを保護者に提示出来ていない。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	・火災避難訓練は年2回実施している。年に1回は総合防災訓練を行い消防署員による指導を受けている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	1	・予防接種までの確認が出来ていない。アセスメント時に確認していく事が可能かと思う。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	・指示書の提示により確認を行っている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	・ヒヤリハットを作成し、事業所内で共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	・人権研修や虐待防止の研修に参加している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	0	・身体拘束に関する説明を行い同意を得ている。

**【全体としての改善目標】**

① 環境整備の充実⇒利用児及び保護者の皆様が安心・安全に過ごすことができるよう玄関前アプローチを修繕し、環境整備を行った。

② 療育内容の充実と専門性の向上⇒コロナ禍の中、活動は制限されるが、感染予防に努めながら、子どもたちにとって魅力ある遊びや活動を提供できるよう努める。  
発達学習会や外部研修を通して発達についての理解を深め、チーム全体での専門性を高める。

③ 保護者支援の充実⇒保護者の悩みや心配事の相談に適切に対応できるよう、個別対応及びグループワークを充実させる。  
グループワークにて保護者間で交流を図り、保護者自身の安心感や仲間作りに貢献できるよう、職員が仲立ちとなる。  
家族支援及び地域支援の充実のため、並行通園先の職員の方と密な連携を図る。